

産業厚生常任委員会会議録

(令和5年8月29日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会産業厚生常任委員会会議録

本日の会議 令和5年8月29日(火)
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	吉田茂生	副委員長	嘉喜山茂
委員	尾崎恵一	委員	少林法子
委員	鷹野正志	委員	原田達也
委員	山下正敏		

欠席委員 なし

出席委員外議員

議長 佐々木 史仁

傍聴委員外議員 なし

職務のため出席した者

議会事務局長	本多幸雄	局長補佐	小松一恵
--------	------	------	------

説明のため出席した者

(商工観光課)

課長 兵頭重徳

(内海支所)

支所長	横山修治	課長補佐	好岡英樹
-----	------	------	------

(西海支所)

支所長	伊田光洋	課長補佐	小澤豊
-----	------	------	-----

本日の委員会に付した案件

(1) 所管事務調査

□アフターコロナの観光振興について

①現地調査（町内）

1. 西海地域（海中公園、ユメカイナ、外泊石垣の里、高茂岬）
2. 内海地域（ゆらり内海、須ノ川公園）

②机上審査

(2) その他

開 会	9時30分
閉 会	15時25分

(現地調査)

- 嘉喜山副委員長 現地調査お疲れさまでした。只今より机上審査を始めます。
- 吉田委員長 お疲れ様でございました。天気も恵まれてですね予定どおり、いろいろと観光については、滞りなく出来たのかなというふうに思います。貴重な時間でございますので、これから今日の疑問点を含めて何かお問合せ先をお問合せすることがあればですね、聞いていただいて、最後は我々が、それぞれ意見を言っていただきながら、最後のまとめにしていきたいというふうに思っていますので、なるべく時間短縮でいきたいと思っております。それでは机上調査に、机上審査のほうに入りますので、何か今日、まわってみてですね、何か聞きたいことございましたら、ぜひ積極的に聞いていただきながら、活発な意見をお願いしたいと思います。何かございませうでしょうか。尾崎委員、何かございませうか。聞いてみたいこと。はい、尾崎委員。
- 尾崎委員 鹿島の海中公園、台風の影響もあったと思うが、8月末まで客数について。今年度なんです。海開きからの推移。
- 吉田委員長 はい。
- 伊田西海支所長 今年度に関しましては、昔は5月から海開きをしようんですけど、今は鹿島、夏期運営も含め子どもの夏休み、7月中旬から8月末までしよまして、今現在7月中の人数なんですけど、7月だけで1,078人となっております。4月から7月まで今年度で2,130人です。ちなみに令和4年度は4月から7月までが2,173人、あと8月に、ほぼ年間の半数の人数を占めとんですけど、令和5年度に関しましては8月1日から10日、8月13日から8月15日の13日間、台風の影響により欠航となりましたので、令和3年度から4年度に関しては、観光客数は倍以上なるとるんですけど、少し5年度に関して伸び悩む可能性があります。はい。以上です。
- 吉田委員長 はい。原田委員。
- 原田委員 今の海中公園の話なんですけど、今日ユメカイナで、海底を見たわけなんですけど、やはり子ども子どもの頃とは、ちょっとサンゴ礁かなあれを、量的にもかなり減つとるし、これから観光客を、呼び込むに当たってもやはり海中公園など、どうしてもメインになるんじゃないかと思うんでね。サンゴの復活といいますか。もう何か、それに復活さすようないい対策というのは、今、多少なりとも取られておるんかどうかちょっと。確認をしたんです。どんなもんですか。
- 吉田委員長 伊田支所長
- 伊田西海支所長 本年度から指定管理者のほうで土佐清水の黒潮海洋研究所のほうと、サンゴの研究を進めております。また、先ほど原田委員が申し上げられたように昔、台風の影響などもあり、サンゴがかなり棄損しておりますので、今後、サンゴが昭和40年代50年代までに回復することを、期待したいと考えます。以上です。
- 吉田委員長 はい、ほかに何かありますか。はい。鷹野委員。
- 鷹野委員 はい。海中公園のことなんですけど、今、鹿島渡しですね、これはガイアナが行きよるっていうことですよ。
- 吉田委員長 はい。支所長
- 伊田西海支所長 はい、お答えします。鹿島渡しはガイアナⅡで運航しております。
- 吉田委員長 はい。鷹野委員
- 鷹野委員 前も全協やったかな、言うたんですけど、ガイアナⅡの維持管理費、忙しいときは、

その海中公園も交互に出しよったけど、今はユメカイナだけと言うて聞いたんやけん。まあ、それでいいんですかね。順番に海中公園をやりよるんやなくて、ガイヤナⅡは鹿島渡し専用の船になっちゃるという認識でいいんですかね。

○吉田委員長 はい。伊田西海支所長

○伊田西海支所長 お答えします。鹿島島の定期航路、ガイヤナⅡでいく理由に関しましては、島の防波堤が、ちょっと、高いので、ユメカイナではちょっと上陸するにはちょっと段差がありますので、ガイヤナⅡで行きよることと、ガイヤナⅡのほうが燃費がいいこともあって、ガイヤナⅡで運航しております。ちょっとユメカイナではちょっと上陸は鹿島のほうには、防波堤にはつけづらいです。

○吉田委員長 はい。

○鷹野委員 上陸じゃなくて、そのガイヤナⅡは、海中公園は見せよらんのでしょう。

○吉田委員長 支所長

○伊田西海支所長 ガイヤナⅡに関しましては、11月下旬から4月上旬まで西海支所裏で、小浦から越田沖、亀倉沖までの海路のサンゴを見せよることと、あと、ガイヤナⅡの稼働に関しまして7月8月の定期船と、あとさらに、年間を通し、ユメカイナは年間を通して瀬ノ浜から、海が穏やかなときに出るんですけど、定期的な検査もごさいますので、ユメカイナではなく、ガイヤナでも、4月中旬から、11月下旬まではガイヤナでも、今日行ったようなコースは、お見せしておりますお客様に、そういうことです。はい。年間を通して、特に11月下旬から4月に関しましては、西海支所のほうにガイヤナⅡを常に、船艇、停めておいて、ユメカイナは、今日行きました瀬ノ浜のほうに停めております。以上です。

○吉田委員長 はい。

○鷹野委員 ごめんなさい。なんか、僕ばかり聞いて、ほんで、冬場は北西が強いけん、船越湾を見せるということですよ。んで、今日行ったうどですよ。うどは、今普通は、航路としていきよんですかね。

○吉田委員長 はい。支所長

○伊田西海支所長 予約のお客様が希望されたら、行きよるとは聞いております。ただし、時間にちょっとかかりますので、次の予約の便とかがいっぱい場合は、今日行った黒婆は磯の周り、あと鹿島の西側のコースに行つて帰るケースが多いとは聞いております。ただうどは、前と変わらず運航しよります。

○吉田委員長 はい。

○鷹野委員 今魚がちょっと減つとるといふ、それは、僕の印象もそうなんですけど、あそこなんかうまいこと餌付けとかして出来んのかっていう質問も前回したといふか前したことあるんですけど、もちろん潮が長い、早いけん、あんまりやっても意味ないとか、お金がかかり過ぎるとか、そういうこともございました。そういった、餌付け含めて、あるいはサンゴ礁、あの湾にしる、ほかにもっといい漁場。漁場いふか、見せる場所が、あるのかどうか、これも研究しよるのかっていう質問もしたんですけど、その辺に関してはいかがですか。

○吉田委員長 支所長

○伊田西海支所長 はい。お答えします。まず、餌付けに関しましては、見られたお客さんの方がテーブルサンゴ、コーラルサンゴ、プラス魚も見れて、必ず、好印象になると思うんですけど、今のところは、指定管理者とその話には至っていません。あと、新たな航路の追加なんですけ

ど、現実的にちょっと距離は難しいんですけど横島のほうでダイビングすると、かなり昔みたいにサンゴは、昭和40年代、49年の頃に16万人を集めていた頃みたいなサンゴがまだ残っていると聞いております。ただ、時間がかかりかかりますので、今後もそれも課題の一つと考えます。

○吉田委員長 はい。鷹野委員。

○鷹野委員 はい。もう最後の質問します。特に、ごめんなさい、横島やったらかなり、距離があるけん、ちょっと難しい、往復で2時間、3時間のコースになろうかと思いますが、あと鹿島のですね、利用ということで、昔僕らがもう、小学校中学校いうたら、キャンプって言うたら、よう鹿島に家族でもう学校でも渡ってキャンプなんかよくしよったんですけど、鹿島の、利用ですよ。売店とか今、宿舎みたいなもんもちろんなくなりましたが、その辺に関してはどのように今考えており、おられますか。

○吉田委員長 はい。

○伊田西海支所長 鹿島観光客数なんですけど、メインは島内にある管理棟がありまして、その前に休憩所がありまして、遊泳できるところに、うちがブイを張りよるんですけど、4年度は、1,535人、海水浴客が訪れております。キャンプ場に関しましても、昨年度まではコロナの関係で、規制でしてありませんでしたが、今年度から、キャンプ場のほうも、運営しております。予約とかが、問合せが前と変わらず多いような状況です。今、鹿島での運営は、キャンプ場と海水浴場のみです。今後に関しましては、今、運営しておりますのは、夏休み期間中でしか運営しておりませんので、年間を通して、お客さんを、集めれるような、何か事業があるか今後研究したいと思います。以上です。

(発言する者あり)

○伊田西海支所長 往復で大人が560円。子供が280円が限度額です。

○吉田委員長 はい、少林委員。

○少林委員 数年前に一度、値上げを出されたけど、一度却下されたみたいな話をお聞きしたんですけど、これではなかなか元が取れないんじゃないかと思って心配しております。値上げをされるおつもりはないんでしょうか。

○吉田委員長 はい。伊田支所長。

○伊田西海支所長 はい。少林議員がおっしゃるとおり、料金、お客さんからも直接聞いたんですけど、往復大人560円で、それで、よそから来てそれでシュノーケルもやってくれるのであれば、かなり金額に関しては安いねと。聞いております。先ほど言われたとおりに、2年度か3年度だったと思うんですけど、一度議案を出そうとして取下げたかなんかは聞いたんですけど、今まさに燃料費がかなり高騰しております、その辺も含めて船を出せば出すほど、指定管理者の赤字になりますので、今後条例のほうの改正を研究したいと考えます。

○吉田委員長 はい。少林委員。

○少林委員 はい。ぜひ、したほうがいいかなと思います。2点目です。中で見たトイレなんですけど施設関係で、トイレが四つで、和式が二つあって、今二つだけ洋式になっている感じなんですけど、お客さんがいっぱい来て、ダイビングだけでも1回の船を出して、20人とか持ってきたりしますが、普通の船なんかもっとたくさん来ます。ちょっとトイレ、和式を要らんのかなあというふうなるべく早く直されて、数が要るんじゃないかなと思います。もう一つ、シャワーも二つやったんですよ。この間、1週間前にちょっと参ったんですけど、シャワー室が

二つだけで長蛇の列が出来ていたの、あそこも数が欲しいなあというふうに思いました、いかがでしょうか。

○吉田委員長 はい、支所長。

○伊田西海支所長 委員おっしゃるとおり、トイレに関しましては、和式トイレをあと二つ、全て洋式トイレにすることを研究したいと考えます。シャワー室に関しましても、利用者から、一遍に来たときにちょっと数が足らんじゃないかという声も聞いておりますので、高額な費用、かけずともちょっと改修できるかどうかちょっと研究させていただきます。

○吉田委員長 はい、ほかに何かございますでしょうか。はい。山下委員。

○山下委員 これ、こう考えるのは私だけではないと思うんでこれ、今までどおり、同じようなことをずっとやっていっても、これ、観客の増員は、増えるのかも現状維持がやっとなんで、多分これ右肩下がりでどんどんどん下がってくると思うんですよ。だからこれ、やっぱりこの新しい発想で、ほかのイベントなり、サービスの向上なり、もう増やしていかなとこれ。観光客の増加には絶対つながらんと思うんですが、例えば、業者なりと、いろいろそういう話をして、また後そういう計画はあるんですか。

○吉田委員長 はい。伊田支所長

○伊田西海支所長 指定管理者の取り組みを紹介してもらっています。主にSNSでは、ホームページ、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックで、テレビに関しましては、年間15回、関係取材を受けております。NHKとかテレビ愛媛とか朝日とあいとか、広島県内のCATV、大分県内のCATV、あとラジオは南海放送、あとウェブに関しましては、じゃらん、モンベルとかとも連携をとっております。今、特に、指定管理者が力を入れておるのがインバウンド事業を官公庁の研修とか学習してございまして、この辺にもちょっと意欲を示して、頑張っていきたいと聞いております。先ほど申し上げた、今年度から国立環境研究所とサンゴのDNA調査を行っております。現在の取り組みは、以上です。

○吉田委員長 はい、どうぞ。

○山下委員 今は私がちょっと聞きたかったのは、集客方法で、もう今のやり方に、何かこう、ほかに私ちょっと何、何がいかってというのは分からんのやけど、ほかのイベントを加えて、今やったらユメカイナなり乗るだけではなく、ユメカイナに乗って、あと何か、ちょっと具体的な案はないんですが、例えば、島におりて何かできるとか、そういうふうな二つ組合せていかなと、なかなか集客、増えていくように思わんですがこれからの業者との、話し合いの中でもそういうのを出来たら、加えていっていったら集客が増えるんじゃないかと思うんですが、いかがですか。

○吉田委員長 はい。伊田支所長

○伊田西海支所長 以前は蛍ウォッチングとかも、しよったみたいなんですけど、今は蛍ウォッチングは行っておりません。その辺も含めてまた指定管理者とまた協議いたしまして何か新たに、出来ないか。また、研究したいと思います。以上です。

○吉田委員長 はい。山下委員。

○山下委員 例えば、担当課と業者だけではなくて、ほかのそういう協力団体を巻き込んで、大きい渦の中で、観光客増加を図っていただきたいと思います。

○吉田委員長 はい。あと、何かございますか。今鹿島のほうに集中してますけど須ノ川含めて、これ観光ですね、盛り上げていくために我々議会としてどうすれば一番いいのかということな

んで、いろいろ忌憚ない意見を言っていたきながらまとめていきたいなど。提案としてですねこういうふうには、その代わり議会もいろんな取組をしていくというふうには思っているんですが、ほかに須ノ川あたり、何かありませんかね。

○吉田委員長 はい。議長。

○佐々木議長 ちょっと、須ノ川の公園のことで聞きたいんですが、舗装はきれいになつとるトイレはきれいになつとるんやけど残念ながら、売店のほうが、以前のままで、町ではどうにもならんのだらうと思うんですが、県のほうに何か今後そういう予定であるのか、聞いてないですか。

○吉田委員長 はい。横山所長。

○横山内海支所長 はい。お答えします。一応ですね県のほうからはどういうふうには言っていないんですけど、ただ、ここ3年ぐらいです、我々から見ると以前に比べると、きれいにしたほうやと思っています。あの、今後についてなんですけど、例えば柵とかなんかそういうのはですね、自分らで、ちょっと、工夫してですね、ちょっとアウトドア系のイメージを出せるようなものには変えていきたいというふうには考えています。それほどお金かけなくてもある程度見た目はよくなるのかなという気はしてますので、その辺は地元の人らともですね、話をしながら、前向きに進めていきたいというふうには考えます。以上です。

○吉田委員長 はい。原田委員。

○原田委員 今日須ノ川の池を見たんですが、私あんなに近くでまじまじと見たのは初めてやって、何とも汚いなという感じを受けたんですよ。せっかくあそこでキャンプ、テント張って、皆さんが楽しまれてるのに、ちょうど目の前に池があつて、のぞいたら、この池何こんなに汚いかという、ちょっとイメージダウンの感じがあるんで、県のほうに言うてですねもう少し、池をきれいにしていただいたら、やはりお客さんに対するねえ。あれも随分違うんじゃないかと思うんですが、ああいうキャンプしとる人から、この池を何とかならんかという、そういう注文というかそういうのが出たことはないですか。

○吉田委員長 はい。横山所長。

○横山内海支所長 はい。えっとですね少数ではありますが、そういう御意見をいただいたことはあります。一応前回の会するときにも、そういうお話いただいたので、それに関しては県のほうには、一応、お話はさせていただいております。以上です。返答はまだないです。

○吉田委員長 はい、少林委員。

○少林委員 これバスの中で皆さんが言ったことなんですけれど、これずっとこの鹿島から、それから外泊で高茂まで行くときに、木がこんなにいっぱいになって、あそこの道路の一つ分のおっきい木ぐらいは切っても通りやすいな、また見晴らしも違うだろう。それから、昔有料道路だつてあそこですよ。船越までとか、ところどころでもええけんちょっと切つて、見晴らしの本当にきれいなところがあつたら、もう本当に観光の目玉になるんじゃないかと。足摺宇和海国立公園なので、なかなか切るにはもうなかなか難しい点もあるのかもしれないですが、皆さんの意見を私が言ってしまいました。はい。

○吉田委員長 伊田支所長

○伊田西海支所長 まさに、少林委員がおっしゃるとおり、木を伐採しますと景観はかなり向上すると思います。高茂岬に関しましては、土佐清水のほう、国のほうに、また、県を通じて確認しなければならないことと、あと旧有料道路と、今日、外泊からずっと高茂まで行かれました

が、全て県道で、木に関しては、県道敷で県の財産となっておりますので、また愛南土木との相談も、必要かと思しますので、また、話す機会があればまた県のほうにもまた、簡易に、どう、誰がどっちの予算で切るんだと言われるとは思いますが、また、こういう声があったということは、愛南土木のほうには伝えたいと思います。

○吉田委員長 はい。

○横山内海支所長 内海のほうなんですけど、今年の、今年度の地区要望のほうで、実は、柏地区から大浜のところの見晴らしが悪いと。以前はそういうことなかったんですけど、あそこのよせを切ってくれというふうな要望が出ました。同時にですね、須ノ川の地区のほうからも、須ノ川灘のところの眺望が悪いというふうな要望が出てまして、この分に関しましては、国道沿いになりますので、国のほうの管轄になるということで、宇和島の国道事務所長のほうにお話をさしてもらって、先週、全部よせのほうは撤去していただきました。もう撤去した後からですね、結構カメラを持った人らが、ここ何日か、かなり寄って夕方とか特に写真を撮りよるような状況が見えます。以上です。

○吉田委員長 はい。山下委員。

○山下委員 観光全般なんで、今日高茂岬行きました。あそこ確かに、景色もよくなって、いいところで、本当すごいなと思うんですが、なかなか新たな人は来ないでしょう。なぜ来ないかという、結局やっぱ全国でもよくあるんですよ。ああいう景観のいいところ。そこには必ず、例えばそこに行って、何か像とかがあって、そこを触ると、本当に幸せになれるとか、ほいでカップルが行って、触るとね、幸せな結婚できる、そういうようなこの発想をちょっと変えて、そういうものでも作らん限り、景観がええだけで人は集まらんと思うんですよ。これやっぱ県のものですからね、県、国かね。やっぱさっき言ったように、国県も巻き込んで、そういうのをつくって愛南町は観光客を増加させたいんだということで、やっぱお願いに行ったりして、やっていくべきと私は思うんですが、それについていかがですか。

○吉田委員長 はい。伊田支所長

○伊田西海支所長 今、建て替えておりますトイレも含め、県の財産が全てですので、今後自然保護課のほうに、高茂のお客さんも増えれば愛南町全体の観光関係の相乗効果でお客さんも増えると思いますので、また自然保護課のほうに、何か全国との事例もちょっと見まして、また相談してみたいと考えます。

○吉田委員長 はい。山下委員。

○山下委員 相談するではなくて、やっぱ積極的にこうこうしたいんだと。いうことで、言い方強くお願いということ、そういう、お願いの仕方というか、もうやっていくべきと思うんですよ。やっぱ待っていても、これ何も変わることはないんで、やっぱ積極的にやってもらいたいと思います。

○吉田委員長 はい。伊田支所長

○伊田西海支所長 その辺も含めまして、どういうことをすればお客さんを呼べるかということ、内容をちょっと研究いたしまして、内容が固まりましたら、また理事者とか議会にも相談して、県のほうに、そのときは要望を出したいと思います。はい。以上です。

○吉田委員長 はい。原田委員。

○原田委員 要望なんですけど、今日、行った高茂岬もさっきでもですね、トイレの改修は、確かにいいんですけど、自販機がないんですよ自販機、今日みたいな暑い日にですよせっかく皆さん、

高茂まで足運んでもらってですね、のど乾いたのと思うけど、さあこれ飲み物がないかということになると思うんですよね。今日ちょっとそういう気が付いたんですが、ぜひ県のほうに、あそこに自販機の一つでも、置いていただいたら大変、ありがたいと思うんですけど。あれ、置いたらいけんっていうのがあるんですかね。そこには、自販機は、分らんかな。

○吉田委員長 伊田支所長。

○伊田西海支所長 まず、自販機に関しましては、私の知つとる範囲では、大体自販機業者がある程度収益上がるところに、設置するんですけど、こちらのほうから設置していいかということはまた、愛媛県の自然保護課に相談しても、自然国立公園なので、県のほうも土佐清水の環境省にちょっと相談してから、国のほうがオッケーであるプラス、コカコーラとか、自動販売機の業者が、そこに設置してくれるのであれば可能となりますので、また、まず、まずは自然保護課のほうにちょっと、事例とかも含めて、また相談してみます。以上です。

○吉田委員長 あとほかに何かございますか。大体そんな感じですかね。はい、鷹野委員。

○鷹野委員 キャンプ場見さしてもらって、キャンプ場のこともちょっと一言というか、初めて見さしていただきました。あんまり興味なかったんですけど、でも施設的には相当よくなってるなど。もちろんあそこの駐車場のトイレも、初めて入って、それなりにきれいになっとなつた。今まで入るのも、汚いし、いやっていうような状態やったけど、どこの施設もどんどんどんよくなると。もうちょっとですね、町外にアピール。キャンプ場として、こういうのがありますというような、そのアピールが出来たらもっと集客っていうか、インバウンドやないけれど、集客できるキャンプ場になっているというふうには私は思うんですが、その辺の研究、今後、どうですかね。

○吉田委員長 はい。横山支所長。

○横山内海支所長 はい。これまでのキャンプ場がメインになるのが、ゴールデンウィーク、そして夏休みの今の時期のみということだったんですけど、ここ数年のキャンプブームからですね、年間を通してある程度人が集まるような状況にはなってきているのかなというふうに担当のほうとしても、そういうふう考えてるんですけど、うちのほうはですね、現在、結構、リピーターが多くなってきたなというふうな、考えではおります。特に、夏場だけじゃなくて冬場にですね1週間通して、県外のほうから、何回も来てくれるようなお客様も増えてきてますので、そういう方をともまたいろいろ、こちらからお声掛けしながらですね、まずは、ここのキャンプ場を使ってくださいよというふうな、話を広げていこうかなというふうに今んとこ考えておると、同時にキャンプのみじゃなくていろんなイベントにも、当然手を出していかないといけない。自然公園ですね出来たらいろんな方に安心して来てもらえるというのが基本ですので、そんな中で、去年12月にイルミネーションしたんですけど、今年度に関してもその分は今度11月から11月の終わりから1月の終わりまで2か月ちょっと、ここは、規模拡大した形で何とかやれないかということで、地元の業者のほうらと話をしながらですね団体と、今話を進めているところです。で、イルミネーションすることになると2か月間、いうことで、去年もゆらりに、その期間ですね、かなりのお客さんが増えたというふうなことを聞いてますので、今年はさらに期間の中でも間間でイベントを打ちながらですね、冬場の集客にも努めていきたいというふうに考えています。同時にですね去年から始めたんですけどいろんな、販売促進のイベントとかですね、そういうのも観光協会とかと話をしながら、やっていきたいというふうに考えています。そういう形で町内町外、ともにいろいろとPR、していかないけんのかなと

いうふうに考えてます。以上です。

○吉田委員長 はい。ほかに何かござい。はい。嘉喜山委員。

○嘉喜山副委員長 須ノ川公園についてちょっとお聞きしたいんですが、須ノ川公園を、モンベルが、それを運営するとして、何か、相手方から、いろんな注文、受けたりとか、そんなもん、今までであったやろか。そう。もう全然そういう話もないんや。

○吉田委員長 はい、兵頭課長。

○兵頭商工観光課長 モンベルとはですねフレンドタウンの取り組みはしておるんですけど、公園の管理とかについてモンベルが何かいうことの状態には至っていません。今んところのゆらりさんが、フレンドショップになっておるとい程度の状況です。以上です。

○吉田委員長 はい。嘉喜山委員。副委員長。

○嘉喜山副委員長 今日見てやっぱいいところやと思うんやけど。モンベルのほうから、ここを運営したいとか、そういったことも一切ない。

○吉田委員長 はい。

○兵頭商工観光課長 モンベルさん来てもらうには、それなりの、協力する。してもらうためのお金が必要ですので、なかなかその辺のところはまだ行き着いてませんので、無料では、何も進んでません。どの規模まで愛南町が求めとるかによってなんで、先進地でこっちのこのホテル運営までやるとことか、それから県外では道の駅まで、運営しとるところについてはもうプロデュースから始まると、もう数千万数億円規模のお金が必要となってくるので、そこまでかけて、モンベルさん。どうかなのというのはまだいろいろ、段階があるかなと思ってます。

○吉田委員長 はい、ほかに何かございますか。はい。山下委員。

○山下委員 これ愛南町の観光の基盤であったサンパールが、なくなりました。これは宿泊施設も含めて本当に宿泊する方が利用できるところがなくなったんで、ぜひ議会でも出たんですが、サンパールに替わる施設ですよ。これなかなかやっぱ町とかでもできにくいんで、企業誘致、にぜひ力を入れていただいて、どっかそういう、愛南町に進出してくれる企業、我々も協力、我々は協力して知れたもんなんですけど、して、ぜひ実現したいと思うんですよ。その点について何か。あれば進捗なり、今取り組みを何かしていることでもあれば。

○吉田委員長 はい。兵頭課長。

○兵頭商工観光課長 はい。サンパールは、跡地は南レクさんのものなので、町も、町長も役員、取締役になってますので、南レクの一員にはなりますけど、ぜひ、まずは宿泊施設が来てほしいということで、いろんな企業には今のところ当たってます。当たります。ちょっと、どこそこいうね、進捗状況はどういうふうなとこまで来とるというのは、今のところちょっとお答えは出来ないんですけど、いろいろ当たって、水面下で当たってみてます。企業誘致については、今のところまだ、そこまでは進んでないんですけど、マッチングのほうもいろいろ進めていきたいと思ってます。以上です。

○吉田委員長 はい、山下委員。

○山下委員 企業誘致というのはホテルをつくる企業誘致のことですよ。分かるとるんやろ。含めて。そうそう、含めた企業誘致という意味。

(「ホテルも含めて、それ以外の企業誘致もあるのかな」と発言する者あり)

○山下委員 それは観光のことなんでそれは入れてない。まあ、そういう答弁聞いたんで、楽しみに待っておりますんで。

(発言する者あり)

○吉田委員長 はい、ほかに何かございますかね。

(発言する者あり)

○吉田委員長 いいですか。はい。はい。後はまた議会のほうでまたまとめながらですね、また不明な点はまたお聞きするかもしれませんが、またそのときはぜひ協力しながらやっていきたいと思えます。ありがとうございました。お疲れさまでした。

(執行部退席)

○吉田委員長 はい、お疲れさまでした。ありがとうございました。はい、まとめに入っていきたいと思えますので、また忌憚ない意見何かありましたら。どうぞ御自由に言っていただきながら、はい、尾崎委員。

○尾崎委員 はい。今、山下委員から話もありましたように、やっぱり観光にはもう泊まれる団体が、ある一定規模の団体が泊まれるホテルというのはもう必須アイテムやと思えます。それでですね、今、海業振興モデル地区になって、いろいろ会議を進めて、あるべき愛南町今模索しよるんですけれども、ああいった会の中でもですね恐らく宿泊施設というのは、喫緊の課題として出てくるのではないかと思えます。この産業厚生委員会からもですね、ぜひとも観光のためには、ホテルというのは、最重要課題であるということを提言していただきたらと思えます。それと鹿島の関連でいきますと、サンパールに年間4万人ほどお客さんが来よる中で、やっぱり宣伝をすればですね旧西海有料道路等、ぴゅっと使えば鹿島も近いので、何がしかの宣伝を鹿島に、水泳に来る方に対して、宣伝をしてですね、一足伸ばしてもろて、鹿島のほうでキャンプ、海水浴できるような、やっぱりアプローチを、何がしかに、町がですね力を入れてやっていただきたいと。思っております。はい。

○吉田委員長 はい。私もちょっと、先週22ですかね家族連れでちょっといろいろまわったんですけれども、一応スタンプラリーみたいのはしてるんですよ。例えばユメカイナに乗って、食事をしてというのはやってるんですね、3,000円以上3か所以上、青と赤とスタンプ押せば3,000円以上の商品とか5,000円以上の商品とか、そういう形でやってるんですけれども、プールとユメカイナ、西海のスタンプラリーはないんですよ。だから、もうちょっと工夫すればね、多分、2時間ほど、プールに入って、午後は、鹿島で観光して、うまいものでも食べて帰っていくというパターンで少しすればね、流れは変わってくると思うんで、そこは本当重要。ちょっとしたことで工夫で変わってくるのかなという気はします。

○吉田委員長 はい、尾崎委員。

○尾崎委員 恐らくサンパールのプールに来る客層が若い年代で、うれしむな部分はあるかと思えます。調査をしてないので分かんと思うんやけど、サンパールに来るお客さんの中で、過去に鹿島で泳いだりキャンプしたり、海中公園に行った人がどの程度あるのか、どの程度認識しておるのかですね、そういったことがやっぱり調査を、来場者に調査をしたり、また宣伝するのも必要ないかなと思えます。

○吉田委員長 はい、ほかに何かありますか。今日最終的にはですねまとめまでは多分いけないと思えます。来月また、保田小学校とかそういった海業のほうですね。そういったものをするんでそれをしてまとめていきたいと思えますので、今日は概算だけ、取りあえず意見だけ、聞いてですね、まとめまでは今日はいけないのかなという気がします。それ、そういう形でよろしいですか。はい。だから意見だけどんどん言っていただいて。

- 吉田委員長 はい。山下委員。
- 山下委員 今、尾崎議員の関連して、例えば、南レクプール利用したお客さんが、鹿島の渡し、ユメカイナに乗るとした場合は、スタンプで、南レクプールを利用したお客さんには、例えば何割引とか、そういうのも、提案ですよ。すれば多少でも増えるんじゃないかと。ということで、提案ですね。
- 吉田委員長 おっしゃるとおりだと思います。ほかに何かございますかね。私一つだけちょっとキャンプしてないんで私よくわかんないんですが、例えば須ノ川の売店、売店のところを含めてなんですが、例えばヒオウギ貝とか地元のトウモロコシとか、そういったものを夕食時期、5時とか、6時ぐらいにそういう、地元の農家の方もしくはフレッシュ一本松から、もあるんですよそういうフジみたいなあれが、そういう食材を積んであそこで、そういうのをすると、キャンプされてる方は、尾崎さん、助かるんじゃないかとかねそういうのはあんまり関係ないすか。
- 吉田委員長 尾崎委員。
- 尾崎委員 まさに、大体スーパーで買い出してくるけどそういうものがあるというのが分かっておればですね。そこで、愛南町独自のものを購入してそこでキャンプするという方はかなりおるんやろうと思いますので十分ニーズはあると思います。うん。ぜひやってほしいですね。
- 吉田委員長 海産セットみたいなね、5,000円ぐらいでいいです。
- 吉田委員長 議長。
- 佐々木議長 先ほど私が言ったように売店にやっぱそういう商品を置いて、外でもいいじゃないですか。あそこでテントでもはってですね。土日のキャンプに来るお客さんが多いときに、やっぱそういうのを販売するのも、一つの手やないかなと思うんですけど、それやったら、県に相談せんでも、愛南町独自で恐らくやれると思うんで、それでもちょっと、研究課題じゃないかな思うんですけどね。
- 吉田委員長 はい。原田委員。
- 原田委員 今日は外泊の石垣の里にも行ったんですけど、今日も担当課から聞いたら、今は30軒で50人ぐらいしか、もうあそこにおらん。空き家も結構増えとるんで、せつかくああいった石垣という財産があるんでですね、ああいうのは本当にめったにないと思うんですよ。あれをやっぱり今後、維持をしていくためにも、今後、指定管理でも、含めて、さあ外泊の人だけにやっぱり負担かけるのかどうか。愛南町全体でいうのはやっぱり、考えていくべきではないかなというふうに思いますのでこれから、それも一つ課題ではないかなというふうに思います。はい。以上です。
- 吉田委員長 はい。私も今日あそこ上まで上がって、更地があるんですよ。あそこも草が生えてくるんで、逆にあそこにベンチでも一つでも置けばですね、ちょっとこう眺めたりですね、そういうことも可能なんで有効活用は幾らでもできると思うんで、なるべくお金をかけずにですね、観光客の方に喜んでいただけるような、そういった提案もこの中で少しできればなと思っはいるんですけども、ほかに何かこう、何かありますか。はい、少林委員。
- 少林委員 ポテンシャルすごいいろいろあるなと思って、大変高いポテンシャルがある。あとちょっと工夫すればいいことが本当にたくさんあるなとすごく思いました。まず、食べ物関係なんですけど、どこへ行ってもちょっとほっとこうあれして、食べるものってないですね。さっき自動販売機のこと言われましたけど鹿島渡しにもあそこ、アイスクリームしか売ってないん

ですよね。最近やっとなキッチンカーが来たけど、例えば高茂岬でだったら、アサギマダラの渡るときとかそれからサシバの渡り10月11月の時、そういうときに何かそういうイベントして、そこにまたそういう、キッチンカーなるようなものが来るとかですね。何かいろんなことが出来そうだなという、今日は本当にポテンシャルの高さをたくさん感じました。はい。やり方次第、それからネーミングの付け方とかですね、次第だろうなと思います。

○吉田委員長 多分ですね来月いろいろと海業を含めた、いろんな形で、もう1回参考になると思いますんで、それを踏まえた上でですね、また次回、最後はまとめをしていきたいというふうに思いますんで、今日の一応取りあえず愛南町まだほかにも篠山とかですね、山出温泉、フレッシュとかその辺は大体皆さん行ってると思いますんで、それも含めたですね総合的な愛南町の観光としての振興をですね、今たまたま高茂岬と西海とそれから須ノ川というふうに行きましたけどまだまだ愛南町にはすばらしいところがあると思いますんで、そういうのを踏まえてですね、もう一度、いろいろと議論をしていきたいというふうに考えております。今日はとりあえずまとめまではちょっといけないと思いますんで、一応机上審査については、これで終わりです。

○吉田委員長 はい。山下委員。

○山下委員 これ、今日観光の振興ということで、私の、観光の目的ですよ。人を何十万人集め何百万人集めるそういう人を集めることなのか。私は観光は、来た人が地元にお金を落として、これでこそ本当の観光だと思うんですよ。ちょっと皆さんにも聞きたいんですけど、観光の目的、私はそう思うんですが、ほかの委員の方の意見、ちょっと聞きたいですね。

○吉田委員長 とりあえずそういった形で意見をちょっと、どういう形で、尾崎委員のほうからちょっと一言。はい。尾崎委員。

○尾崎委員 人が来る、そしてお金を使ってもらう。人が来るってことはやっぱり、いろんな事業というのが生まれますので、雇用が確保され、その結果所得も確保されるということで、地域がそういう部分で活性化してくる、そういったことを目指した観光であるべきやと思っております。

○吉田委員長 たくさんこう、何十万人と呼ぶっていうよりもどちらかという、そういうことではなくてということですね。尾崎委員。

○尾崎委員 そういう意味でやっぱり日帰りではなくて、できるだけ滞在していただいて、お金を落としてもらうというところでやっぱりホテルが、必要なというふうになってしまいました。

○吉田委員長 はい。少林委員のほう、どうですか。

○少林委員 自分が受ける側の観光について、私は田舎の良さとかそういうのを来た方にしみじみ感じてもらえるような。はい。こちらの、はい。文化や、自然や、そういうものを、理解してもらってという深まりのあるものが大事かなというふうに思います。それ以外は、尾崎委員と同じです。はい。

○吉田委員長 鷹野委員。

○鷹野委員 はい。逆を考えた場合に、例えば京都に行きたいって行って、何ために行くっていうたら紅葉がきれい、お寺を見たいっていう、そこに求めるもんが何かあるというその逆の発想で、愛南町の良さ、愛南町にはこういうのがあるよというそれを認識された、観光客が行ってみよう。うん。ということが一つの観光であり、行くからにはもちろん地元にお金が落ちると、それが経済波及っていうか、経済効果になってくる。それが全体の観光、っていうイメージで

すかね。はい。

○吉田委員長 はい。原田委員。

○原田委員 私もうやはりこれは地元の地元が経済的に潤う。これがやはり観光のメインではないかなというふうに考えます。一応高速道路も、柏まではもう間違いなく来るんでこれ、それを見据えて、やはり、なるべく県、松山近郊あるいは県外から愛南町に足を運んでいただいて、ここで1泊していただいて帰っていただくと。地元にお金を落としてもらおう。やっぱりこれじゃないと。町の将来もないんじゃないかなと。いうふうには私は考えております。以上です。

○吉田委員長 はい。山下委員。

○山下委員 どうも考え方皆、皆さん同じなんで、やっぱりこれからは、いかに地元にお金を落としてくれるか。そのためにはどういう方法したらいいかを、委員会でも、これ検証というか、していくべきと思います。以上です。

○吉田委員長 はい。嘉喜山副委員長。

○嘉喜山副委員長 はい。やはり最終的には、地域の振興が、振興のための観光政策だと思っておりますので、いかにやはり観光産業を育てていくか。っていうところが課題だろうなど。僕は思います。

○吉田委員長 はい。私も同じように地元に残らないと駄目で、逆にですね、大量に観光客にはですね、愛南町だけの魅力では到底これは無理だと思いますんで、足摺宇和海国立公園の中で、集客をするのであればですね、横の連携もこれ必要になってくると思いますんで、今回の産業厚生については愛南町のいかに経済効果が出てくるかというところが1番メインだと思いますんで、先ほどのホテルとか、そういった施設も含めてですね、今の愛南町の施設も、どういうふうな活用で今後継続的にしていくのか、そういったところも、もしできればですねそこぐらいまでは踏み込んでこういうふうな形で、今後愛南町の観光を振興してもらいたいというふうなところまでは、12月までに出せればなというふうには思っています。ただ方向性としては、愛南町の経済、観光をどういうふうにしていくかということによろしいですかね。はい。ベクトルはそういうふうな形でいきたいと思います。はい。時間も差し迫っておりますんで、最後に、その他のところで2点。一つはですね、愛南町豊かな自然と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する条例についてということで、これ前回ちょっと机上でしたんですけども、どうもですね、9月の定例には、ちょっと、結論としては出せないということで、ここについては継続審査でいきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(発言する者あり)

○吉田委員長 12月までにはきちっと出せるようにしますんで。よろしいですかね。はい。それともう一つ、ごめんなさい。アフターコロナの観光振興についても、継続できますんで、9月ではなくて12月ということで、していきたいというふうに思います。それからもう一つですね9月定例に終わりました、どうもこのエネルギーに関してはですね、もう机上で話してもですね、結論は出てこないのかなと。まだ国のほうのあれが出てこないんで、提案としてひょっとしたらその傾斜地とそれから、発電ですかね、認可のときの、広さではなくて、発電量、ぐらいのことを改善して行って進言していくぐらいの形になるのかなというふうに思いますこれは皆さん話合いで決めていきますけども、特に審査することはないのかなと思いますんで、一つ一つテーマをですね、何か、次回、もう1回まだ多分あると思いますんで、9月から12月の何かあれば、それも一つ増やしていこうかなと思いますけども、そんな大きなことは多分出来

ないと思うんで今出てるのが、林業、林業振興についてぐらいですかね。これも間に入れて、観光と、うまくできるのであれば、それぐらいの時間はあるのかなというふうに思うんですけども、それについてはいかがでしょう。

(発言する者あり)

○吉田委員長 いいですか。もうほとんどねこれ、太陽光ほとんど、多分、すいませんこれちょっと勇み足かなと。

(発言する者あり)

○吉田委員長 観光も継続です。そうです。観光はですね。ほとんどもうないんですよ。もう観光についても、これ以上ちょっとどっか、視察してもいいんです。もし四国県内でそういうふうな林業とか観光とかがうまくタイアップ出来ててっていうのが何か、徳島あたりにありそうな感じではあるんですけど。

(発言する者あり)

○吉田委員長 一応そういう方向性でいきますんで、ちょっと決定ではないんですけども、ちょっとそういう形でちょっと考えておりますんで、また、御相談しますんで、よろしく願いしたいと思います。ほかに何か皆さんほうからありますか。

(「ありません。」と発言する者あり)

○吉田委員長 はい、事務局何かございますか。はい。大丈夫ですか。はい。長時間にわたりましてお疲れさまでございました。ゆっくり休んでいただいて、また次回またよろしく願いいたします。お疲れさまでございました。

産業厚生常任委員会委員長